

規範意識育成のための活動プログラム（例）

京都市立 ○○ 中学校

ユニット			道徳の時間			学級活動	
時期	核とする体験的な活動	ユニットのねらい	内容項目 主題名	資料名	ねらい	学習内容	具体的な活動内容
1年Ⅰ期 (5月)	部活動	自他の権利を守るために、ルールを大切にしていこうとする態度を養う。	4－(1) ルールを守る	席がえ	集団生活におけるルールの意味を理解し、進んで秩序と規律を守ろうとする心情を育成する。	学校での規則	「生活のきまり」など、中学校での規則について、担任教師との質疑応答を行う。
1年Ⅱ期 (9月)	体育祭	互いの意見を出し合い、よりよい解決方法を見つけ出し実行していく態度を養う。	4－(3) 公正と公平	ハインツの物語	様々な価値観や考え方を理解し、よりよい社会を築くために積極的に関わろうとする意欲を高める。	体育祭のメンバー決め	体育祭のメンバー決めを、体育委員による「話し合い活動」により、みんなが納得するように決める。
1年Ⅲ期 (1月)	ファイナンスパーク学習*	進んで集団に関わり、その発展向上のために寄与していこうとする態度を養う。	4－(5) 勤労の尊さ	フリーターという仕事	勤労の意義と喜びを理解させ、真の幸福をめざす充実した生き方をする意欲を高める。	3年生を送る会の取組	「送る会」での1年生の役割を理解し、プレゼントづくりや出し物を練習するなどの準備を行う。
2年Ⅰ期 (7月)	合唱コンクール	学級の一員であることを自覚し、互いを尊重し協力していこうとする態度を養う。	4－(4) 集団生活の向上	1本のジュース	集団の中での自己の責任を自覚し、自己を高めるために集団生活の向上に努めようとする意欲を高める。	合唱コンクールの目標づくり	学級がまとまるような目標を、合唱のリーダーによる「話し合い活動」によって決定する。
2年Ⅱ期 (11月)	生徒会役員選挙	学校の一員として積極的に生徒会活動に関わり、よりよい環境をつくらうとする態度を養う。	4－(2) 社会連帯	学級委員	社会の一員としての自覚をもち、みんなと協力してよりよい社会を積極的につくっていこうとする意欲をもたせる。	生徒会役員の立候補と応援	生徒会役員選挙の立候補を立て、学級の取組として選挙活動を進めていく。
2年Ⅲ期 (1月)	生き方探究チャレンジ体験 (職場体験学習)	正しい礼儀や作法を身に付け、よりよい人間関係を築いていこうとする態度を養う。	2－(1) 礼儀	1枚のはがき	礼儀作法とは感謝や好意を形に表すことを理解させ、時と場合に応じた形で表現しようとする心情を育成する。	話の聞き方	スキル・トレーニングの方法を用い、班活動の中で「聞き方」の技能を高める。
3年Ⅰ期 (6月)	修学旅行	互いが規律を守り、よりよい社会を形成していこうとする態度を養う。	4－(2) 公德心	地下鉄で	社会の一員として、自他への配慮を大切にし、公德心をもって行動しようとする心情を育成する。	修学旅行の諸注意	修学旅行でのルールやマナーを実行委員が説明し、集団行動の注意点を考えさせる。
3年Ⅱ期 (10月)	学級劇(学年劇)	相手の気持ちを理解し、相手の立場に立って物事を進めていこうとする態度を養う。	2－(2) 思いやり	受話器の向こうは	思いやりの心を大切にし、他の人の立場を尊重して温かく接していこうとする意欲を高める。	学級劇の役割分担	文化祭の内容を話し合い、みんなが納得するような取組を、生徒の手によって進めていく。
3年Ⅲ期 (3月)	卒業式	他者に感謝し、素晴らしい社会を築いていこうとする態度を養う。	2－(6) 感謝	「ありがとう」と言われる自分に、言える自分に	多くの人々の善意や支えにより現在の自分があることに感謝し、その思いに応えようとする心情を育成する。	お世話になった人たちへの手紙	卒業を前に、教科担任など学校の中でお世話になった方への感謝の手紙などを書く。

*施設の中に再現した「街」で、税金・保険をはじめ食費や光熱水費、住宅費などの生活に必要な費用の試算、さまざまな商品やサービスの購入・契約などを体験する。社会に溢れる情報を適切に活用する力や、自らの生き方に繋がる生活設計能力などを育成する。